

第3次秋田市食育推進計画に対する意見一覧（パブリックコメント）

NO.	意見内容	市の考え等
1	<p>①学校給食における牛乳の廃止あるいは選択を別添のとおりアメリカと日本で活躍され名医といわれる新谷弘美先生は牛乳あるいは乳製品の問題を説いておられる。牛乳を飲み続けると骨粗鬆症やガンになる可能性があるとのこと。</p> <p>②学校給食玄米あるいは白米に雑穀を加え供する日を週に二度は設けるべき このことは米作りや野菜づくりにおいて無農薬あるいは減農薬を推進すること。生活環境を浄化し健康的な環境を形成することになる。これを推進するため無農薬あるいは減農薬農業者には支援金を出すこと。</p>	<p>本市では、「適切な栄養の摂取による健康の保持増進」のため、学校給食摂取基準に基づき、献立を作成、提供しています。学校給食で提供する牛乳は成長期の児童生徒のカルシウム供給源として大変重要であり、家庭で不足するカルシウムを補完する重要な役割を果たしています。また、世界保健機関（WHO）も「カルシウムの最良の補給源は牛乳・乳製品である」と示していることから、学校給食における牛乳提供の廃止や選択制とする予定はありません。</p> <p>本市では、学校給食においてJAの基準をクリアした米を使用し、週4回米飯給食を実施しております。そのうち、週2回は麦ご飯を提供しているところであります。 無農薬や減農薬による栽培方法は、安全・安心を求める消費者意識に合致し、環境負荷の軽減等にも寄与するものであると認識しております。 そのため本市では、無農薬栽培等に取り組む農業者に対して、国や県と協調し支援を行っているところであり、引き続きこうした取組を進めてまいります。</p>